



# ひびき 南山田小学校だより

Letter of the M.Y. elementary school

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.298  
令和 2年度 12月号  
令和 2年 11月 30日



## One for all , All for one

( 一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために )

校長 佐藤 康晴

今年も、残すところ後僅か一か月となりました。新型コロナウイルス拡大の中で、ここまで安心安全に学校運営が出来ましたのも、子どもたち一人ひとりの頑張りや努力はもとより、「南山田の子どもたち」を温かい眼差しで包み育てくださり、常日頃から、子どもたちの健康と安全を守って学校に送り出してくださった保護者の皆様並びに PTA の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力があったからこそ、と切に思っています。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年を振り返ってみると、年始初めから、新型コロナウイルスのニュースが流れ始め、3月には、残念ながら学校は休校となりました。先が見えない状況の中で、多くの子どもたちを始め保護者の皆様も不安を感じられたのではないのでしょうか、教職員一同も、学校再開に向け、何が出来て何が出来ないのかを考え、情報を集め、精査・検討し、何をするのに、子どもたちの健康と安心安全を第一として取り組んできました。その中で、保護者の方々、地域の方々のご理解をいただき、密を避けた卒業式を挙行し6年生を送り出し、在校生も修了式を行うことができ、何とか前年度を終えることが出来ました。しかし、新型コロナウイルス拡大は止まず、4月からの新年度は、時間を短縮し、内容を変更しての入学式、始業式を行い、翌日から、6月の第一期、午前・午後の分散登校開始まで、又長い休校に入ることとなりました。分散登校から今日まで、子どもたちは、3密を避け、常にマスクを着用するなど、新しい生活様式に慣れながら、約束を守り、学習や活動に取り組んできました。この間、昇降口で子どもたちを迎えていた時、高学年の児童から、「校長先生、最近みんなソーシャルディスタンスが出来てないね」と心配そうに登校してくる南山田の仲間を見つめ、話しかける児童に出会いました。その時私は、子どもたちの中に、この状況の中で、自分の事だけでなく、他者を思いやる、しっかりと育まれた思いや学びがあり、それを行動することで、自分や親しい人を守ることに繋がっていかうとする姿を見ることができました。改めて、子どもたちの優しさやこれからを変えていく可能性を感じ、とても嬉しい気持ちになりました。私は、昨年開催され日本中に歓喜を与えてくれたラグビーワールドカップで有名になった言葉、**One for all , All for one** (一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために)を思い出しました。皆が健康で安心安全に生活できる環境創りを目指し、一人ひとりが取り組んでいく事が大事だと、この児童の姿を見て感じました。南山田小には、そんな子どもたちが沢山います。

そして、来年も又学校は、子どもたちの健康と安心安全を第一として、保護者の皆様並びに地域の皆様と共に、「南山田の子どもたち」を育てていきたいと思えます。来年もまた保護者の皆様、地域の皆様のご理解並びにご支援・ご協力をいただけましたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

そして、子どもたち、保護者の皆様に、地域の皆様にとって、いい年の終わりと、さらに輝ける新しい年の始まりになりますよう、切に願っております。